

2013年6月14日 267号

共同センターNEWS

憲法改悪反対共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX5842-5620)

<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

自民党、公約に 96 条「改正」盛り込むか注目

各党の参議院選挙の公約・マニフェストが出始めています。公明党の参議院選挙重点政策に、「憲法」という文字が見当たりませんでした。また、日本共産党は「参院選で問われる大争点と日本共産党の改革提言」で、憲法については「安倍政権の改憲への暴走と対決し、憲法を守り、生かす政治を」として、「①憲法を憲法でなくしてしまう 96 条改悪をやめさせ、立憲主義を守ります、②憲法 9 条を守る一日本を「海外で戦争する国」にする改憲策動を許さず、9 条を生かした平和の外交をすすめる国に、③日本国憲法の全条項を守り、民主的・平和的条項の全面実施を」と、3 点にわたり詳細に述べています。

注目は、自民党。来週 17 日の週に公約を発表するとしていますが、96 条「改正」を掲げるのか、マスコミの報道でも注目を浴びています。

参院選公約原案 批判おそれあいまい表現 参院選のりきるため？

5 月 23 日に明らかになった自民党の参院選公約の原案では、焦点の 96 条に関して、昨年 12 月の衆院選政権公約を基本的に踏襲し、国会発議要件の緩和について「衆参それぞれの過半数に緩和」するとしていますが、「先行改正」は盛り込まれませんでした。憲法改正では新たに『憲法改正原案』の国会提出と憲法改正を目指し、国民の理解を得つつ積極的に取り組んでいく」との文言を盛り込みました。また、自衛権についても、「集団的自衛権の行使を可能に」という表現を削除するなど批判をおそれトーンダウンしたあいまいな表現になっています。



安倍首相は 5 月 14 日の国会で、96 条について「国民の支持が高いとは言えない」と回答しています。一方で、産経や読売新聞が「改正せよ」と檄をとばしています。そのため、自民党内で様々な議論が起きています。ここまで追い詰められた安倍首相、どう判断するのでしょうか。

産経新聞

『『強い日本』にする決意と覚悟で、先行改正を掲げてたたかえ』と檄

2013/5/25 産経新聞より

最大の争点を公約に明記せずはどうたたかうのか。自民党が参院選公約原案で、憲法改正の発議要件を定める 96 条の先行改正を盛り込まなかったのはおかしい。安倍晋三首相はかねて「自民党はまず 96 条から始める」との決意を示していた。攻めの姿勢から守りに転じることは、政局運営の主導権を失うリスクがあることを認識すべきだ。首相は「強い日本」にするとの決意と覚悟を新たに、先行改正を正面に掲げて、参院選に臨んでもらいたい。

(途中 略)

公約原案は「国防軍の保持」など党憲法改正草案の骨格とともに「憲法改正原案の国会提出と憲法改正を目指す」との決意を示している。「発議要件を衆参それぞれの過半数に緩和」との内容にも触れている。それなのに先行改正の方針を明確にしないのは、96 条改正について国民の支持が高いとはいえないとの判断や、公明党の慎重姿勢などがあったためだ。

//各地のとりのくみ//

宮 城

1 時間で「リーフ」1000 枚配布

「小選挙区制を廃止し、一票を生かすみやぎの会」

現在の情勢に合わせて新たに発足した「小選挙区制を廃止し、一票を生かすみやぎの会」（略称：一票を生かすみやぎの会）は、6月10日に初めての宣伝行動を実施しました。

自由法曹団、宮教組、新婦人、みやぎ一般、県労連、婦人民主クラブ、民医連から、20人という多数の参加で、共同センター作成の「リーフ」を配布。

「1区1人しか当選しない小選挙区制は、死票が多く生まれ、国民の意見を正しく反映しない選挙制度です。」そのため、TPP や増税反対などの国民の願いが国会に届かない状況が長年続いていることを指摘し、「小選挙区制度を廃止し、比例を中心とした選挙制度や中選挙区制につくりかえ、民意が反映される選挙制度にしていきましょう」と訴えました。市民のチラシ受けも大変良く、1時間で約1,000枚配布。大成功！

埼 玉

会場満員、500 人を超える参加者

輝け！日本国憲法の集い 埼玉憲法会議

NEWS 希求 NO.91 より

九条の会事務局長の小森陽一さんの講演を中心とした「輝け！日本国憲法のつどい」が、5月30日、埼玉会館小ホールで開催されました。定員の500人を超える参加があり、ロビーのモニターテレビ前でも熱心に聞き入る人がいて、参院選を前に、憲法問題への関心の高さが示されていました。

小森さんは、「第二次安倍政権は危険な改憲政権」のテーマで、安倍政権の本質を、アメリカとの関係などで歴史を遡って解明。そして選挙制度問題にも鋭く切り込み、最後に、九条の会など草の根の運動を強化して第二次安倍政権の改憲策動を押し返そうと、2013年5月17日に九条の会が発表したアピール「九条の会のみなさんへ」を紹介しました。

午後8時30分の終了時まで誰一人席を立つ人が無く、3人の入会申し込みと、13万円のカンパがありました。

**見て！**

6・5 院内集会の動画

6月5日の署名提出院内集会&議員要請行動(96条改悪ストップ！世界の宝9条を守り生かそう！)は、小澤隆一先生の分かりやすい96条についての講演、各地からの豊かな活動報告、そして何よりも累計で52万人の署名を積み上げての素晴らしい集会となりました。その様子を動画で見ることができます。ぜひ、周りの方と一緒に見てください。

- ◆ 「6・5署名提出院内集会」の様子は、IWJ・ホームページ(チャンネル6)より動画で見ることができます。

<http://iwj.co.jp/channels/main/channel.php?CN=6>

右側の方に「過去のライブ」→「130605 96条改悪ストップ！世界の宝9条を守り生かそう！」をクリック

憲法を学び、生かし、平和な日本と世界を！